

災害時、自宅が安全なら…

# 在宅避難という選択肢

大地震等の災害が発生したとき、避難所での生活を想像する方は多いかもしれません。しかし、自宅に大きな被害がなく安全な場合は、住み慣れた家で避難生活を送る「在宅避難」が有効な選択肢となります。いざという時に自分と家族を守るため、そして地域で支え合うためにも、「在宅避難」について知っておきましょう。



## 在宅避難って何？

災害時に、倒壊や浸水等の危険がない安全な自宅にとどまり、避難生活を送ることで、在宅避難を行うためには、建物に大きな損傷がない、津波・土砂災害・浸水の危険がない、ライフライン停止を想定した備えがあることが前提となります。

### 在宅避難のメリットは？

避難所に行くことに比べて生活環境を保ちやすいため、家族への負担が少ない、プライバシーが保護される、自宅の備えを活かせるといった自分や家族へのメリットのほか、地域の見守り・助け合いがしやすい、避難所の混雑緩和等、地域全体へのメリットもあります。

### 在宅避難の前提条件

- 建物に大きな損傷がない
- 津波・土砂災害・浸水の危険がない(右記の各QRコードからハザードマップも確認できます。参考にしてください)
- ライフライン(電気・ガス・水道等)停止を想定した備えがある



地震について



風水害について



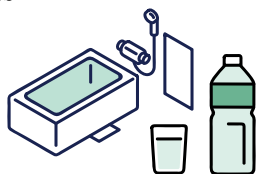
今日から始めよう!

## 在宅避難のための備え

在宅避難で快適に過ごすためには、平常時に十分な備えと工夫を学んでおくことが大切です。

### 水は「飲む水」と「使う水」を分けて備えよう

- 飲料水は、1日3L×家族分×7日間(最低3日間)用意しましょう
- トイレ等の生活用水は、浴槽にためた水や雨水を活用しましょう



### 非常時の食は「特別」より「いつもの味」が安心!

すぐに食べられる缶詰やお菓子等、普段から備蓄も含めた少し多めの食材を買っておき、日常で使いながら適宜補充する「ローリングストック」を活用しましょう。



在宅避難について、もっと知りたい人は以下QRコードから「在宅避難のポイント」(安城市減災まちづくり研究会)を確認してください(冊子版は市危機管理課窓口にて配布)。



市民や地域の取組み



在宅避難のポイント

